

2023 年 1 月 30 日
日本銀行盛岡事務所

岩手県金融経済概況（2022年12月）

1. 概況

県内経済は、緩やかに持ち直している。

最終需要の動きをみると、公共投資は、下げ止まりつつある。設備投資は、増加している。個人消費は、持ち直しの動きが進捗している。住宅投資は、弱い動きとなっている。この間、生産は、一部に弱さが窺われるものの、総じてみれば持ち直し基調にある。雇用・所得環境は、改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

2. 最終需要

公共投資は、下げ止まりつつある。

先行指標である公共工事請負金額（2022年12月）は、2ヵ月振りに前年を下回った（前年比△18.0%）。

設備投資は、増加している。

2022年12月短観（岩手県）における2022年度の設備投資は、前年度を大幅に上回る計画となっている（前年度比+91.6%）。内訳をみると、製造業では、電気機械、輸送用機械を中心とした活発な能力増強投資から前年度を大幅に上回る計画（同2.3倍）。非製造業でも、感染症の影響緩和などを背景に前年を上回る計画となっている（同+6.9%）。

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響などが和らぐ中、持ち直しの動きが進捗している。

百貨店売上高（全店舗ベース：2022年11月）は、5ヵ月振りに前年を下回った（前年比△8.5%）。スーパー売上高（全店舗ベース：2022年11月）は、5ヵ月連続で前年を上回った（同+4.9%）。また、新車登録・届出台数（乗用車＜含む軽＞：2022年12月）は、4ヵ月連続で前年を上回った（同+5.0%）。

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に持ち直しの動きが進捗している。

住宅投資は、弱い動きとなっている。

新設住宅着工戸数（2022年11月）は、7カ月振りに前年を上回った（前年比+1.4%）。内訳をみると、持家（同△2.9%）、分譲（同△8.3%）は前年を下回ったものの、貸家（同+15.3%）が前年を上回った。

3. 生産動向

生産は、一部に弱さが窺われるものの、総じてみれば持ち直し基調にある。

鉱工業生産指数（季節調整値：2022年11月）は、3カ月振りに前月を上回った（前月比+7.8%）。主な業種の指数をみると、輸送機械、食料品が低下した一方、電子部品・デバイス、生産用機械などが上昇した。

四半期の動きをみると、2022/7～9月は2期連続で前期比上昇した（2022/1～3月：前期比△2.9%、4～6月：同+8.5%、7～9月：同+5.7%）。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、改善している。

有効求人倍率（季節調整値：2022年11月）は、1.41倍と3カ月連続で前月を上回った（2022年10月：1.37倍）。

雇用者所得（県内合計値：2022年11月）は、名目賃金指数（前年比△0.2%）が前年を下回ったものの、常用雇用指数（同+1.6%）が前年を上回ったことから、4カ月連続で前年を上回った（同+1.4%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品：2022年12月）は、引き続き前年を上回った（前年比+4.3%）。

6. 企業倒産

企業倒産（2022年12月）は、5件、負債総額980百万円となった（前年同月は7件、負債総額13,394百万円）。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（2022年11月）は、預金、貸出とも前年を上回った。貸出約定平均金利（2022年11月）は前月に比べて上昇した。

以 上

